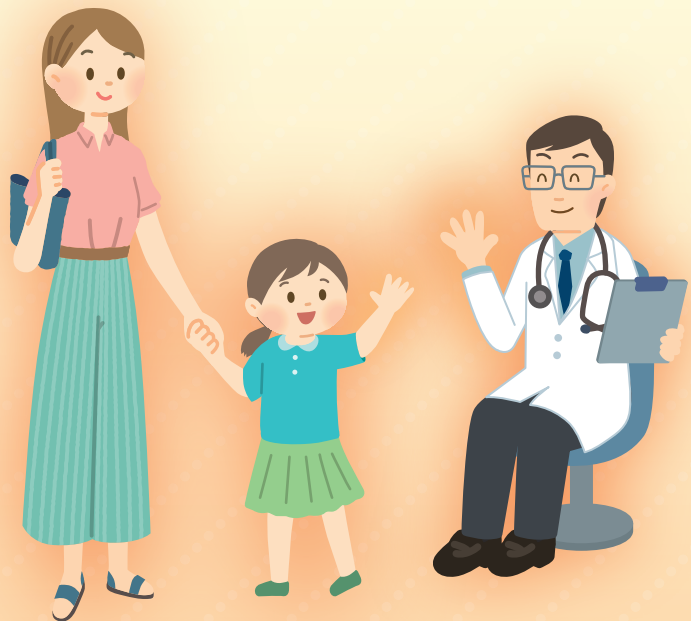


百日咳

診断と治療

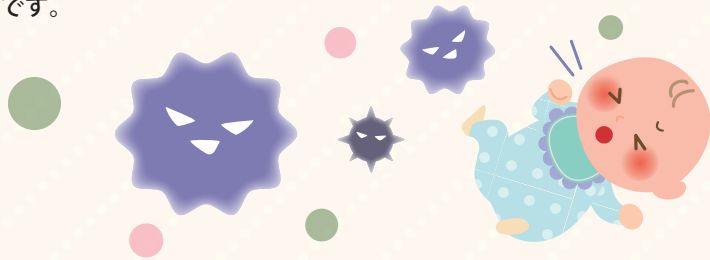
監修

千葉大学
真菌医学研究センター 感染症制御分野
石和田 稔彦 先生



百日咳とは…

百日咳は、**感染力のとても強い“百日咳菌”**^{ひやくにちせききん}という細菌による感染症です。感染したひとのせきやくしゃみなどの飛沫を吸い込んだり、飛沫のついた手で口に触れることなどで感染します。**6か月未満の赤ちゃんが感染すると、重症化し死に至る危険性**があります。百日咳で一番怖いのは、知らないうちに赤ちゃんにうつしてしまうことです。



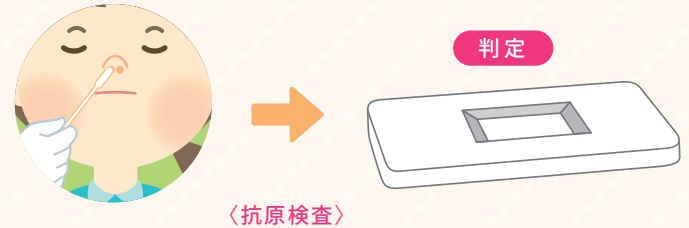
どんな症状なの？

2週間ほどかぜのような症状が続いた後、**激しいせきが2～3週間続きます**。その後、2～3週間かけ回復します。百日咳の予防接種を受けたひとは、症状が軽くなる傾向がありますが、症状が軽くてもひとにうつす可能性はありますので注意が必要です。



どんな検査をするの？

主に「鼻の奥から菌をこすりとって調べる**抗原検査**や**遺伝子検査**」と「血液を採って調べる**抗体検査**」があります。



どうやって治療するの？

マクロライド系*と呼ばれる抗菌薬で治療を行います。**早期に治療**を行うことで症状のある期間を短くすることができます。また、他のひとへの感染を減らすことができます。



*マクロライド系抗菌薬が効きにくい場合には、他の抗菌薬も使用することがあります。

百日咳は予防接種で防ぐことのできる病気です。

日常的な予防としては、**手洗い・うがい・マスク着用**なども有効です。

